

8. アクセシビリティ評価

公共交通機関の利用による都市生活の利便性を評価するため、『アクセシビリティ指標活用の手引き（国土技術政策総合研究所都市研究部）』に基づき、全国都市交通特性調査や国土数値情報等の既往資料からアクセシビリティ指標を算出し、以下のT指標、P指標により、現在の袋井市の都市構造における、公共交通機関を利用した都市内移動の状況の調査を実施します。

8-1. T指標とP指標について

都市内の各地点における都市交通の利便性（アクセシビリティのレベル）を示すものが、T指標となります。単位は所要時間（分）であり、徒歩または公共交通機関の利用による「市域各地点から目的地までの所要時間」を、公共交通機関の運行頻度の多少による待ち時間の期待値を加えて算出します。

また、T指標が都市内各地点における都市交通の利便性であるのに対し、P指標は、都市全体の都市交通の利便性（アクセシビリティのレベル）を示すものとなります。このP指標は、T指標の一定時間以内の値の区域に居住する人口が都市の総人口に占める割合を示し、単位は（%）です。

◆ T指標、P指標には、目的地別により、指標A、指標Bの2種類があります。

◇指標A【公共交通の利用のしやすさ】

「都市内の各地点から鉄道、バス等の公共交通機関に乗車するまでにかかる所要時間の数値」となります。各々の地点から徒歩による公共交通機関までの移動時間と公共交通機関待ち時間の期待値の計で算出します。

◇指標B【都市中心部への利便性】

「都市内の各地点から都市の中心部までの所要時間」となります。各々の地点から各駅までの徒歩及び公共交通機関での移動時間と公共交通機関待ち時間の期待値の計として算出します。

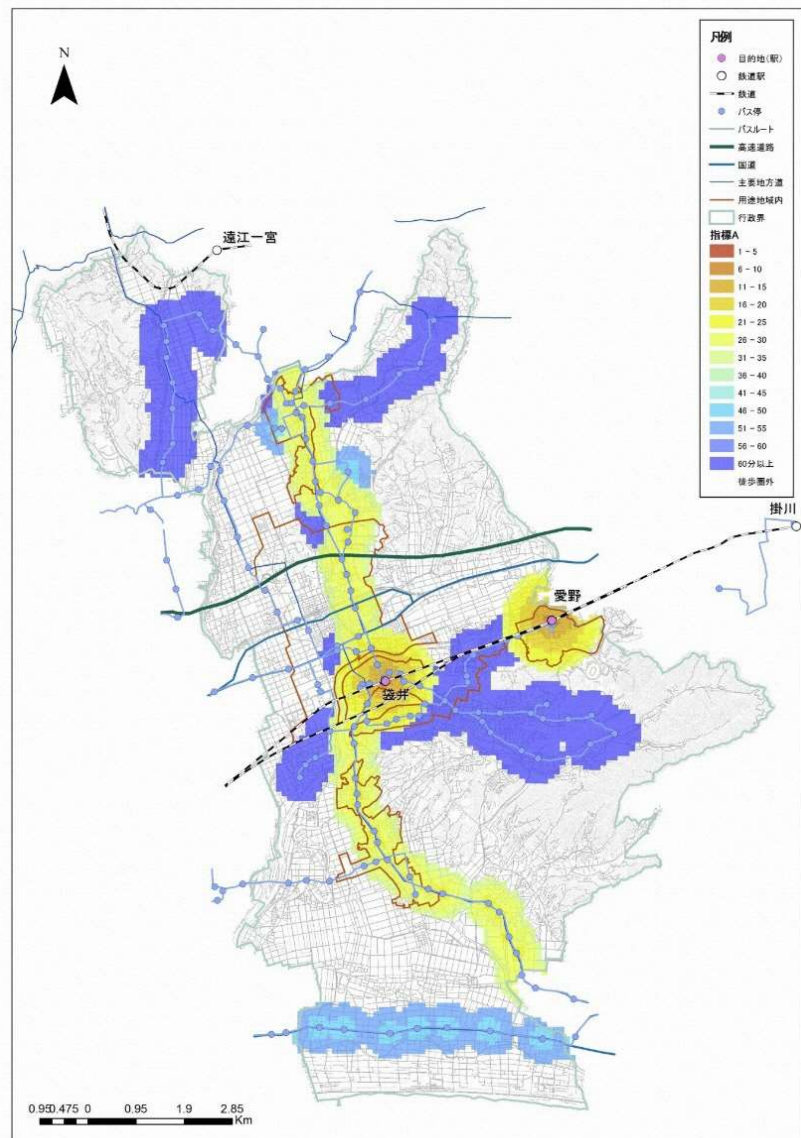
※本市においては、都市計画マスタープランに都市交流拠点として位置づけられている「JR 袋井駅」を中心部とします。

8-2. 公共交通の利用のしやすさ (指標A)

T
指
標

- 公共交通の利用のしやすさが確保されていると判断される基準は「30分以内」であり、JR 袋井駅および JR 愛野駅の周辺と、JR 袋井駅から北へ延伸する(都)袋井駅森線沿線のバスルートおよび JR 袋井駅から南へ延伸する県道袋井大須賀線沿線のバスルートに沿った沿道エリアに限られています。
- 「15分以内」の特にアクセシビリティの高い地域は、JR 袋井駅、JR 愛野駅の周辺エリアに限定されます。
- 30分を超える地域としては、国道150号のバスルート沿道エリアとなっています。また、市域北部の浜北袋井線周辺、掛川山梨線周辺、市域中央部の袋井小笠線周辺等のバスルート沿道エリアにおいては「60分以上」となっています。
- 市域西部にある複数のバス路線において、バス停の地点であっても「徒歩圏外」となっています。

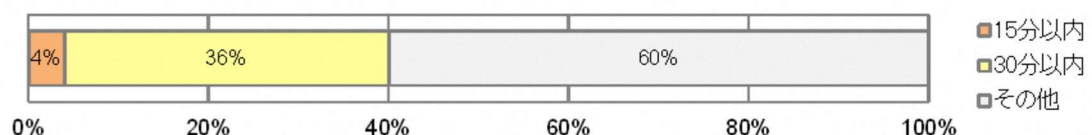
※バスルートが通過しバス停が設置されているものの、平日10時から16時における上下線の発着本数の合計が12本を超えない場合は、日常的な公共交通利便性の指標であるT指標では、公共交通路線が通過していないエリアと同様の「徒歩圏外」に該当されます。



P
指
標

- 指標AにおけるP指標の値は、「15分以内」が4%、「30分以内」が36%となっています。
- アクセシビリティが確保されていると判断される「30分以内」の合計は40%となっています。
- 総人口の40%が、日常的な移動に公共交通の利便性を享受できるエリアに居住しています

※その他=徒歩圏外+徒歩圏31分以上



8-3. 都市中心部への利便性（指標B）

<p>T 指 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市中心部への利便性が確保されていると判断される基準は「45 分以内」であり、JR 袋井駅、JR 愛野駅の周辺エリアと、JR 袋井駅から北へ延伸する(都)袋井駅森線沿線のバスルートのうち東名高速道路付近までの沿道エリア、JR 袋井駅から南へ延伸する県道袋井大須賀線沿線のバスルートの浅羽地区付近までの沿道エリアとなっています。 ● 「15 分以内」の特に「JR 袋井駅」への利便性が高い地域は、徒歩でJR 袋井駅へアクセスできるエリアに限られています。 ● (都)袋井駅森線沿線のバスルートおよび県道袋井大須賀線のバスルート沿道エリアにおいて、45 分を超える地点がみられます。 <div data-bbox="667 427 1465 1559" style="text-align: right;"> </div>										
<p>P 指 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 指標BにおけるP指標の値は、「30 分以内」が 16%、「45 分以内」が 14%となっています。 ● アクセシビリティが確保されていると判断される基準「45 分以内」の合計は 30%となっています。 ● 総人口の約 30%が、都市の中心部である「JR 袋井駅」まで、徒歩または公共交通によって日常的に移動の利便性を享受できるエリアに居住しています。 ● 「60 分以内」までを含めた場合、総人口の約半数(47%)が、徒歩または公共交通機関を利用して、「JR 袋井駅」まで移動可能となります。 <div data-bbox="391 1915 1476 2049" style="text-align: right;"> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30分以内</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>45分以内</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>60分以内</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>徒歩圏外</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	指標	割合	30分以内	16%	45分以内	14%	60分以内	17%	徒歩圏外	53%
指標	割合										
30分以内	16%										
45分以内	14%										
60分以内	17%										
徒歩圏外	53%										

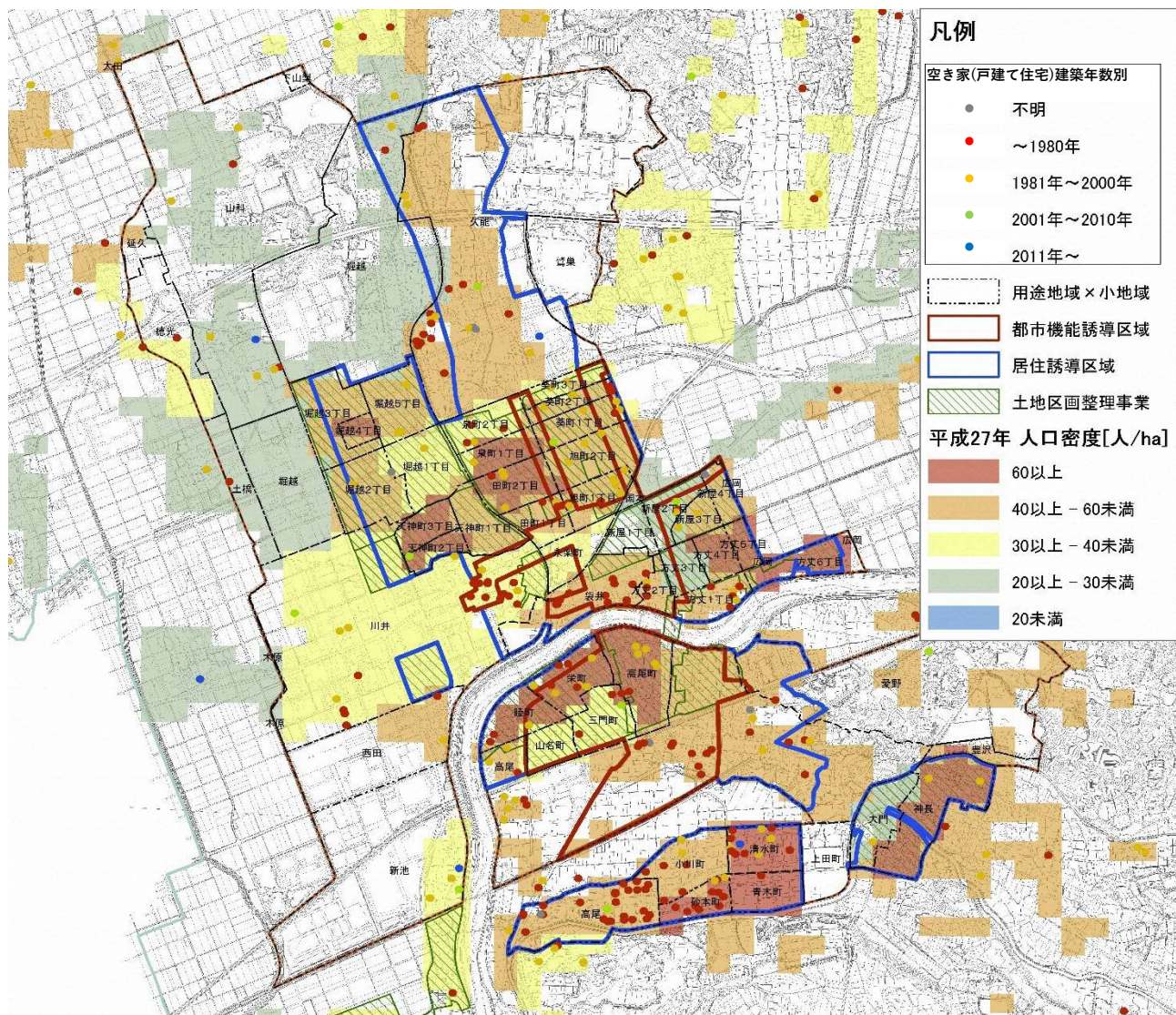
1. JR 袋井駅及び袋井市役所周辺

1-1. 人口、人口密度、空き家について

JR 袋井駅及び袋井市役所周辺は 2040 年時点で用途地域内の老年人口割合（31.9%）が高く、高齢化が進行しています。土地区画整理地内でも、人口が減少する（0.28%減）ことが想定され、老年人口が特に増加（1,434 人増）し、高齢化が進行します。また、将来的な人口密度の低下も予測されることから、地域活力の低下が懸念されています。

用途地域内には、1980 年以前の空き家（141 戸）多く点在していますが、そのうちの旧東海道沿いや高南地区で多く分布しています。

■人口密度（2015 年（平成 27 年））



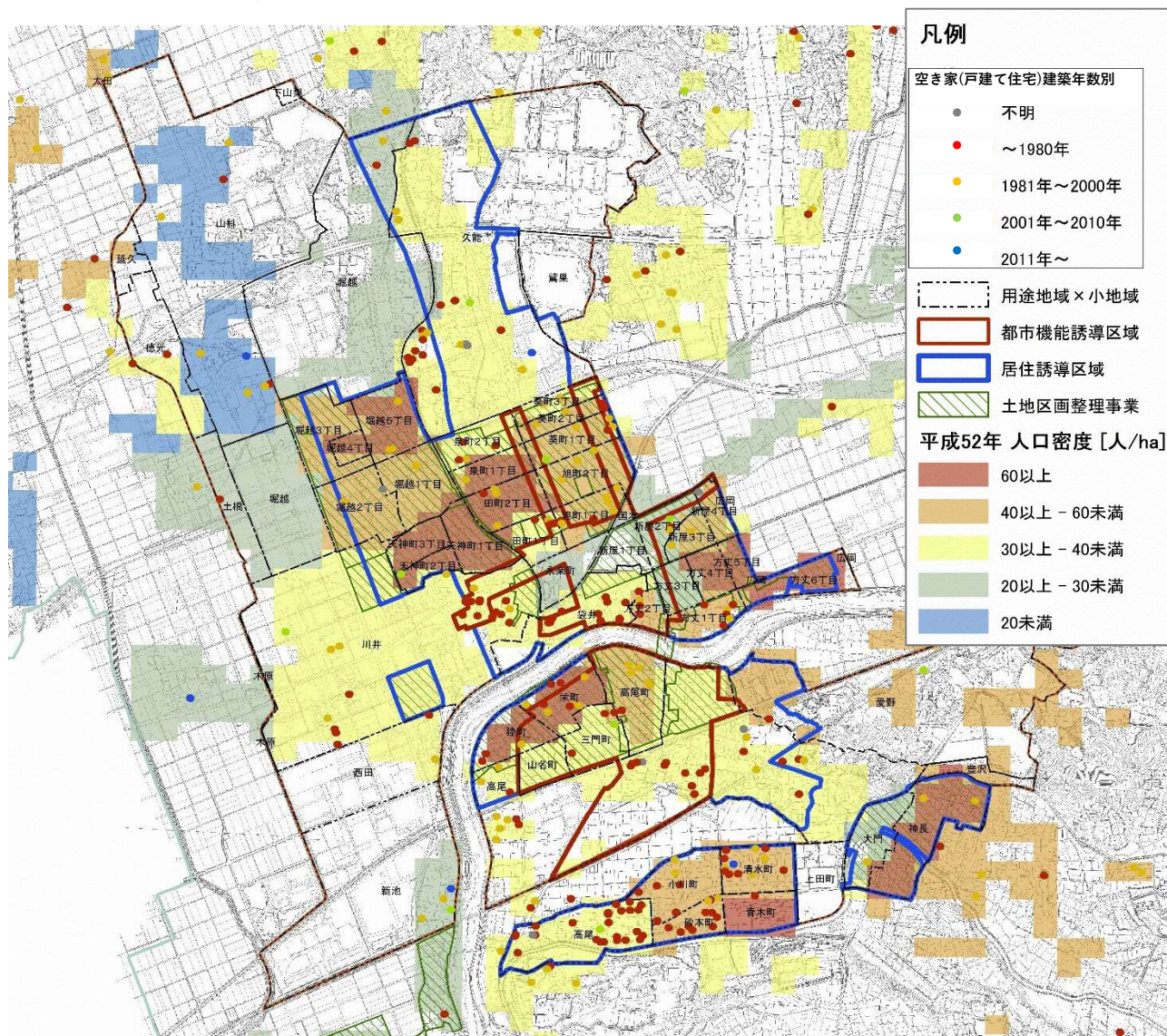
※人口密度の算出方法については、P5（下段）に記載していますので参考としてください。

※空き家のプロットについては、2015 年度（平成 27 年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

■各地域の人口推計



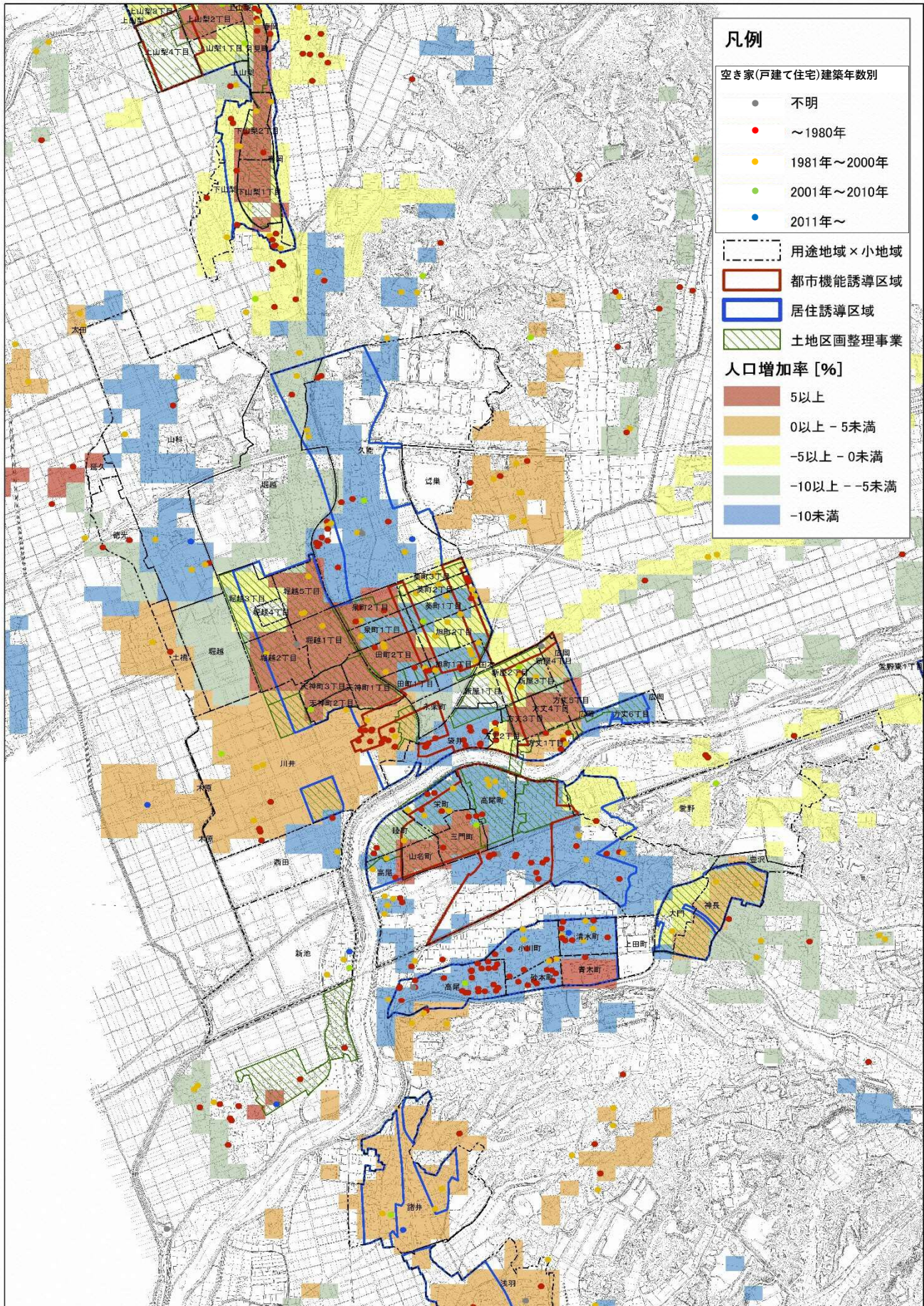
■人口密度 (2040年) 推計



※人口密度の算出方法については、P5 (下段) を参照してください。

※空き家のプロットについては、2015年度(平成27年度)に実施した空き家分布調査に基づき作成したもので、2040年の状況を推定したものではありません。今後の空き家の動向については、P11 (下段) を参照してください。

■人口密度増加率（2015年（平成27年）→2040年）



※人口密度増加率の算出方法は、 $(2040年人口密度 - 2015年人口密度) \div 2015年人口密度 \times 100$ となります。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

用途地域内		人口密度	2015年（平成27年）	27.8（人/ha）
面積	1,030（ha）		2040年	26.4（人/ha）

用途地域内の年齢別人口（人）	増減数		増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年		2015年（平成27年）	2040年	
人口	28,629	27,136	-1,494	-5.22%	-	-
年少人口(0～14歳)	4,406	3,515	-890	-20.21%	15.4%	13.0%
生産年齢人口(15～64歳)	17,971	14,960	-3,011	-16.76%	62.8%	55.1%
老年人口(65歳以上)	6,253	8,660	2,408	38.51%	21.8%	31.9%
幼児人口(0～5歳)	1486	1165	-321	-21.61%	5.2%	4.3%
小中学人口(6～14歳)	2920	2350	-569	-19.50%	10.2%	8.7%
若年女性人口(20～39歳)	3464	2853	-611	-17.63%	12.1%	10.5%

土地区画整理地内 ※組合、市施行のみ		人口密度	2015年（平成27年）	51.7（人/ha）
面積	227.65（ha）		2040年	51.5（人/ha）

区画整理地内の年齢別人口（人）	増減数		増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年		2015年（平成27年）	2040年	
人口	11,759	11,726	-33	-0.28%	-	-
年少人口(0～14歳)	1,840	1,544	-296	-16.10%	15.6%	13.2%
生産年齢人口(15～64歳)	7,646	6,474	-1,172	-15.33%	65.0%	55.2%
老年人口(65歳以上)	2,273	3,707	1,434	63.12%	19.3%	31.6%
幼児人口(0～5歳)	582	510	-73	-12.49%	5.0%	4.3%
小中学人口(6～14歳)	1,258	1,034	-223	-17.76%	10.7%	8.8%
若年女性人口(20～39歳)	1,456	1,257	-199	-13.67%	12.4%	10.7%

居住誘導区域内		人口密度	2015年（平成27年）	46.1（人/ha）
面積	439.8（ha）		2040年	43.9（人/ha）

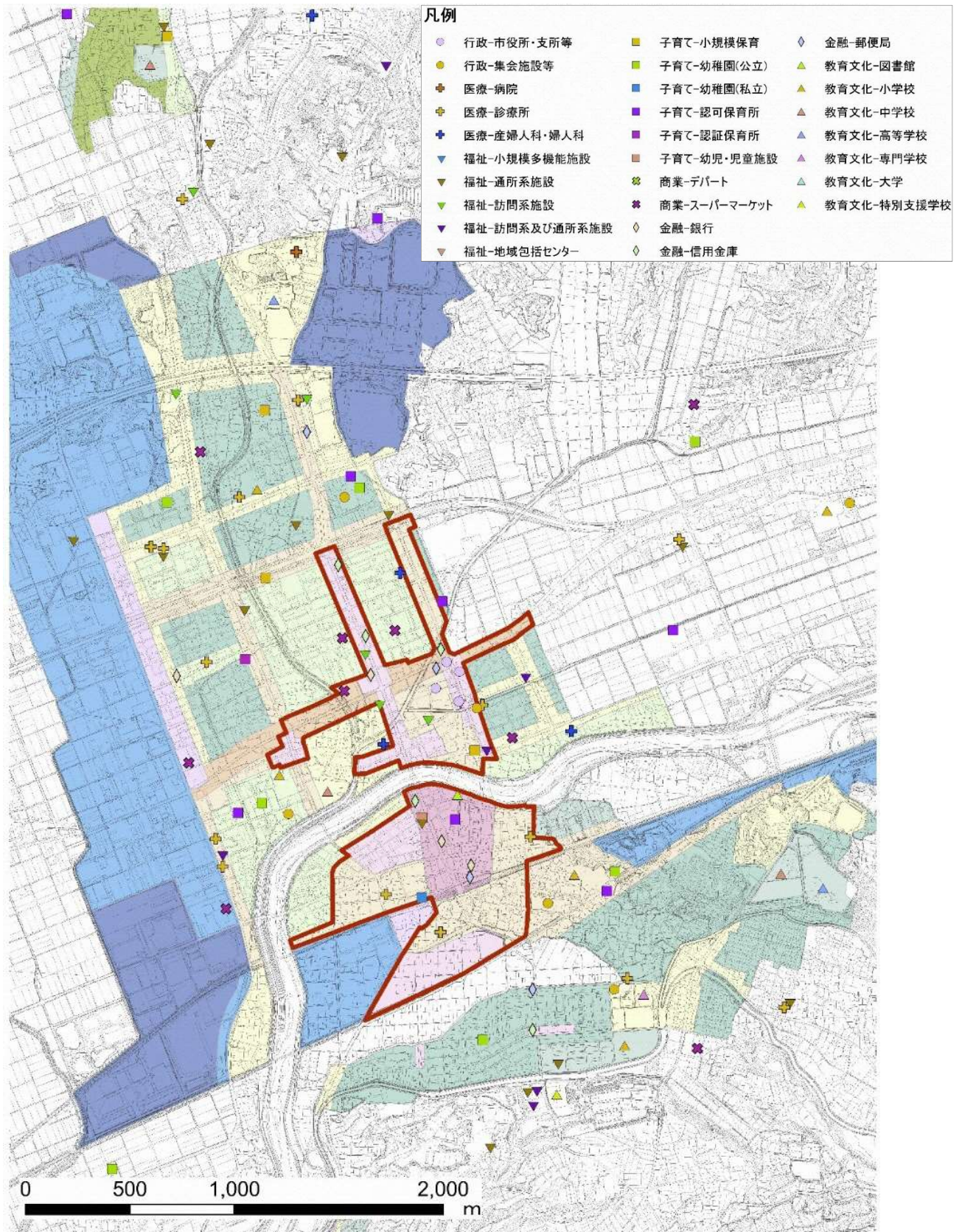
居住誘導区域内の年齢別人口（人）	増減数		増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年		2015年（平成27年）	2040年	
人口	20,285	19,308	-977	-4.82%	-	-
年少人口(0～14歳)	3,021	2,503	-518	-17.14%	14.9%	13.0%
生産年齢人口(15～64歳)	12,625	10,510	-2,115	-16.75%	62.2%	54.4%
老年人口(65歳以上)	4,639	6,295	1,655	35.68%	22.9%	32.6%
幼児人口(0～5歳)	959	830	-129	-13.46%	4.7%	4.3%
小中学人口(6～14歳)	2,062	1,673	-389	-18.86%	10.2%	8.7%
若年女性人口(20～39歳)	2,343	2,019	-324	-13.83%	11.6%	10.5%

	空き家数							
	建築年数					管理状況		
	～1980年	1981年～2000年	2001年～2010年	2011年～	不明	倒壊の危険がある空き家	管理不良な空き家	管理良好な空き家
用途地域	141	85	10	4	7	11	52	184
区画整理地	25	45	5	0	2	0	9	68
居住誘導区域	121	66	6	2	7	11	47	144

1-2. 都市機能の立地状況について

都市拠点（JR 袋井駅及び袋井市役所周辺）の都市機能誘導区域では、様々な都市機能が立地しており、本市の中心的な機能（市役所、銀行、中央郵便局、警察署、中央子育て支援センター、図書館）が立地しています。

■JR 袋井駅及び袋井市役所周辺の都市機能の立地状況

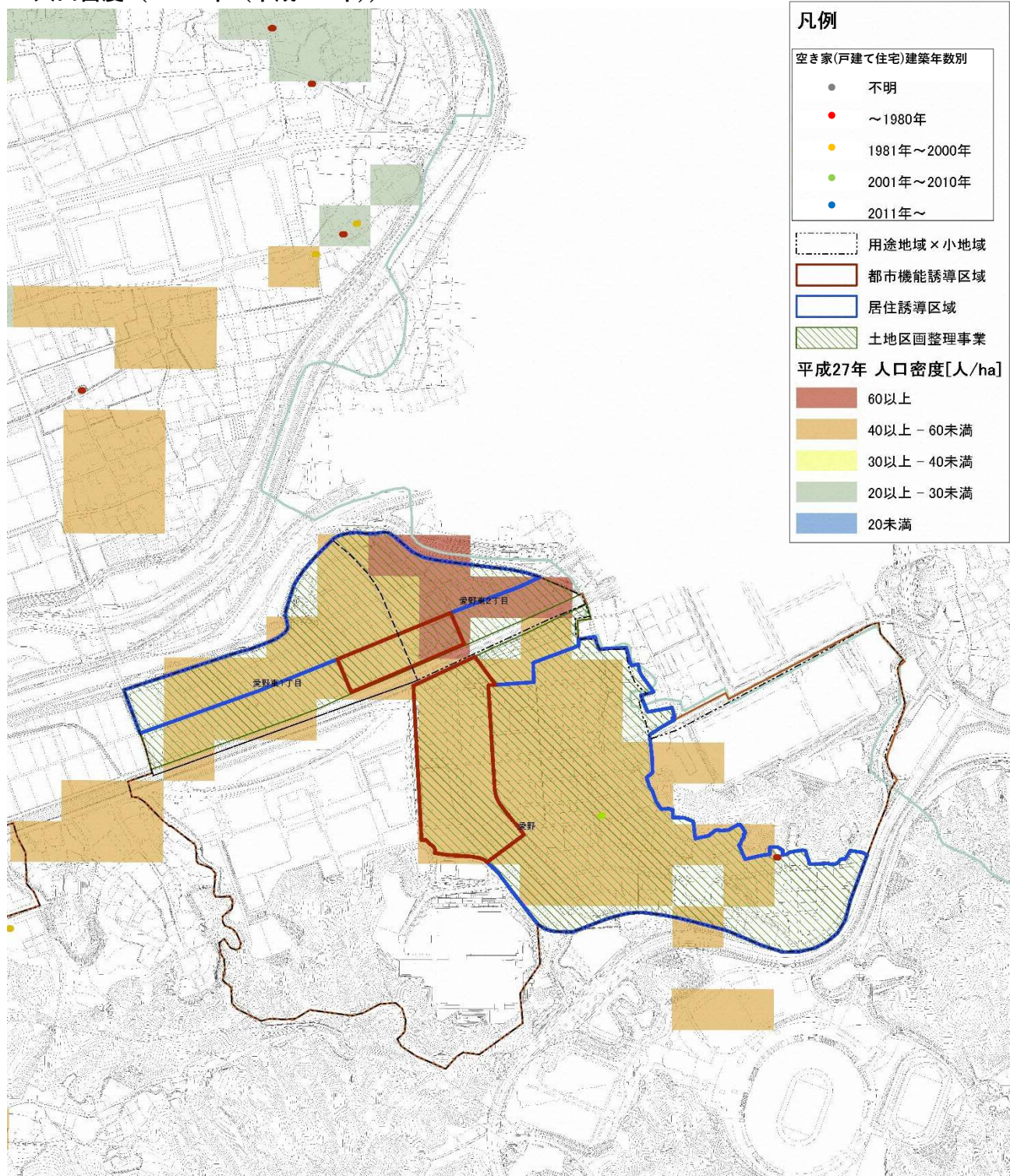


2. JR 愛野駅周辺

2-1. 人口、人口密度、空き家について

近年、JR 愛野駅の南北で土地区画整理事業が完了しており、年少人口の割合が高く（19.7%）、比較的若い世帯が居住しています。区画整理地内では、約 40 人/ha の人口密度を維持しているものの、このまま定住が促進されれば高齢化が進むことが想定されています。

■人口密度（2015 年（平成 27 年））



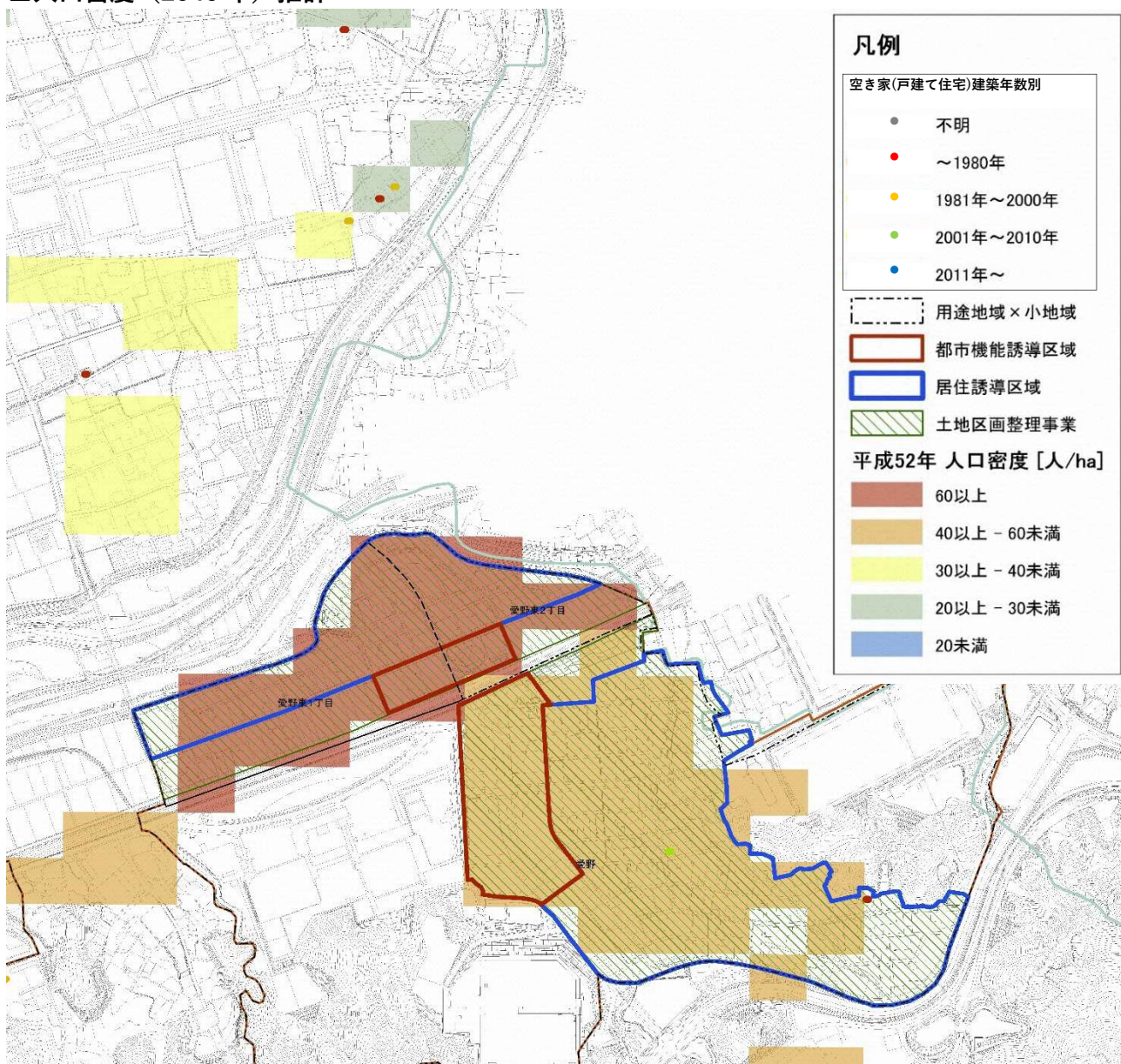
※人口密度の算出方法については、P5（下段）を参照してください。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

■各地域の人口推計



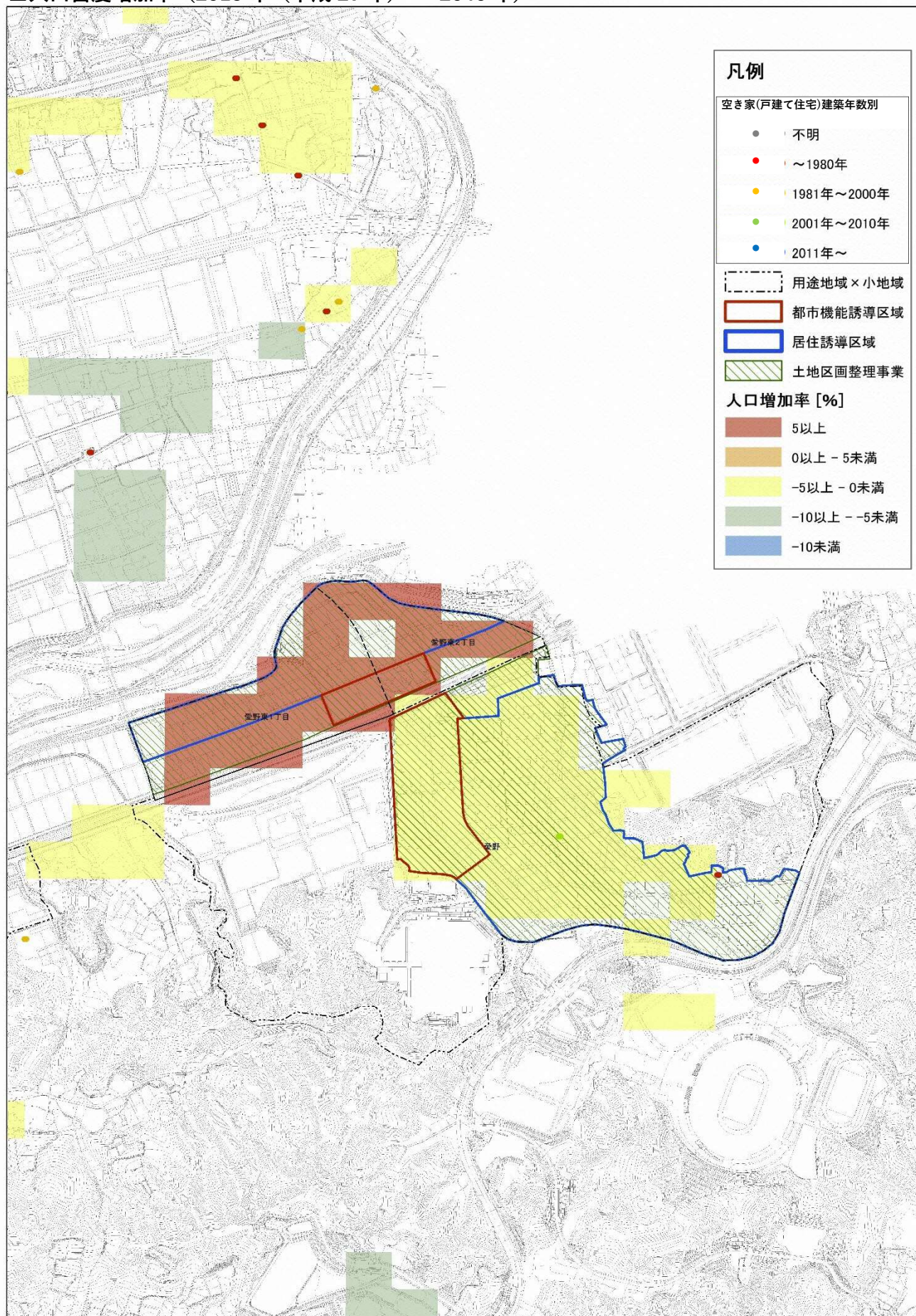
■人口密度（2040年）推計



※人口密度の算出方法については、P5（下段）を参照してください。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したもので、2040年の状況を推定したものではありません。今後の空き家の動向については、P11（下段）を参照してください。

■人口密度増加率（2015年（平成27年）→2040年）



※人口密度増加率の算出方法は、(2040年-2015年)÷2015年×100 となります。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

用途地域内		人口密度	2015年（平成27年）	23.6（人/ha）
面積	125.7（ha）		2040年	25.9（人/ha）

用途地域内の年齢別人口（人）	2015年（平成27年）		増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	2,971	3,253	282	9.47%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	584	415	-170	-29.02%	19.7%	12.8%	-6.9%
生産年齢人口(15～64歳)	2,123	2,102	-22	-1.02%	71.5%	64.6%	-6.9%
老年人口(65歳以上)	263	736	473	179.45%	8.9%	22.6%	13.8%
幼児人口(0～5歳)	316	137	-178	-56.48%	10.6%	4.2%	-6.4%
小中学人口(6～14歳)	269	277	9	3.22%	9.0%	8.5%	-0.5%
若年女性人口(20～39歳)	600	404	-196	-32.67%	20.2%	12.4%	-7.8%

土地区画整理地内 ※組合、市施行のみ		人口密度	2015年（平成27年）	44.6（人/ha）
面積	60.0（ha）		2040年	48.5（人/ha）

区画整理地内の年齢別人口（人）	2015年（平成27年）		増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	2,673	2,911	238	8.89%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	526	371	-156	-29.60%	19.7%	12.7%	-7.0%
生産年齢人口(15～64歳)	1,905	1,872	-33	-1.75%	71.3%	64.3%	-7.0%
老年人口(65歳以上)	242	668	427	176.47%	9.0%	23.0%	13.9%
幼児人口(0～5歳)	280	123	-157	-56.13%	10.5%	4.2%	-6.3%
小中学人口(6～14歳)	246	248	1	0.58%	9.2%	8.5%	-0.7%
若年女性人口(20～39歳)	533	361	-172	-32.35%	19.9%	12.4%	-7.5%

居住誘導区域内		人口密度	2015年（平成27年）	41.9（人/ha）
面積	52.03（ha）		2040年	44.6（人/ha）

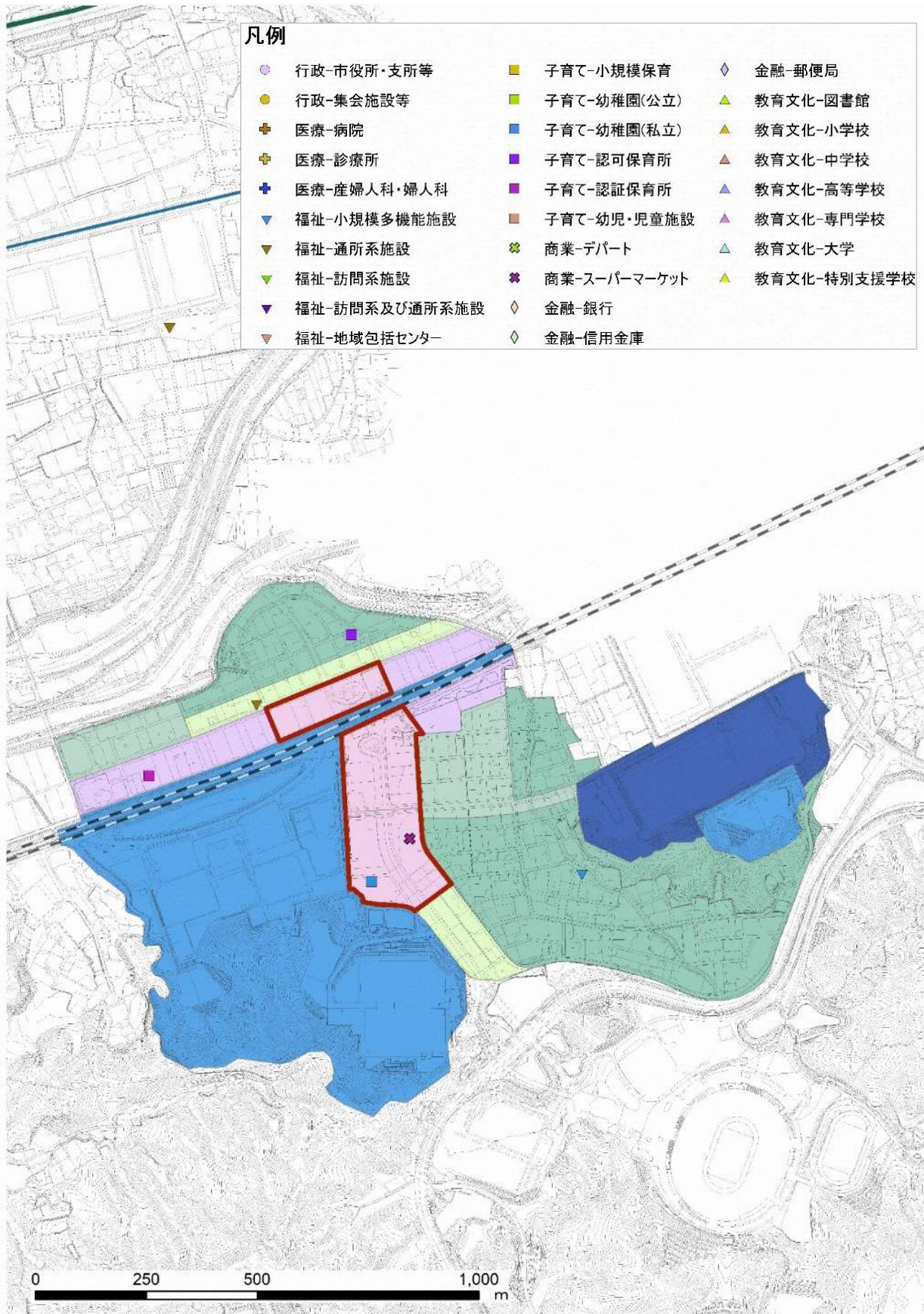
居住誘導区域内の年齢別人口（人）	2015年（平成27年）		増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	2,178	2,322	144	6.62%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	432	296	-136	-31.51%	19.9%	12.8%	-7.1%
生産年齢人口(15～64歳)	1,535	1,482	-53	-3.44%	70.5%	63.8%	-6.7%
老年人口(65歳以上)	210	543	333	158.40%	9.7%	23.4%	13.7%
幼児人口(0～5歳)	221	99	-122	-55.34%	10.1%	4.2%	-5.9%
小中学人口(6～14歳)	212	198	-14	-6.65%	9.7%	8.5%	-1.2%
若年女性人口(20～39歳)	420	286	-134	-31.90%	19.3%	12.3%	-7.0%

	空き家数							
	建築年数					管理状況		
	～1980年	1981年～2000年	2001年～2010年	2011年～	不明	倒壊の危険がある空き家	管理不良な空き家	管理良好な空き家
用途地域	1	0	1	0	0	0	0	2
区画整理地	1	0	1	0	0	0	0	2
居住誘導区域	1	0	1	0	0	0	0	2

2-2. 都市機能の立地状況について

地域拠点（JR 愛野駅周辺）の都市機能誘導区域では、子育て施設や商業施設が立地しています。

■JR 愛野駅周辺の都市機能の立地状況



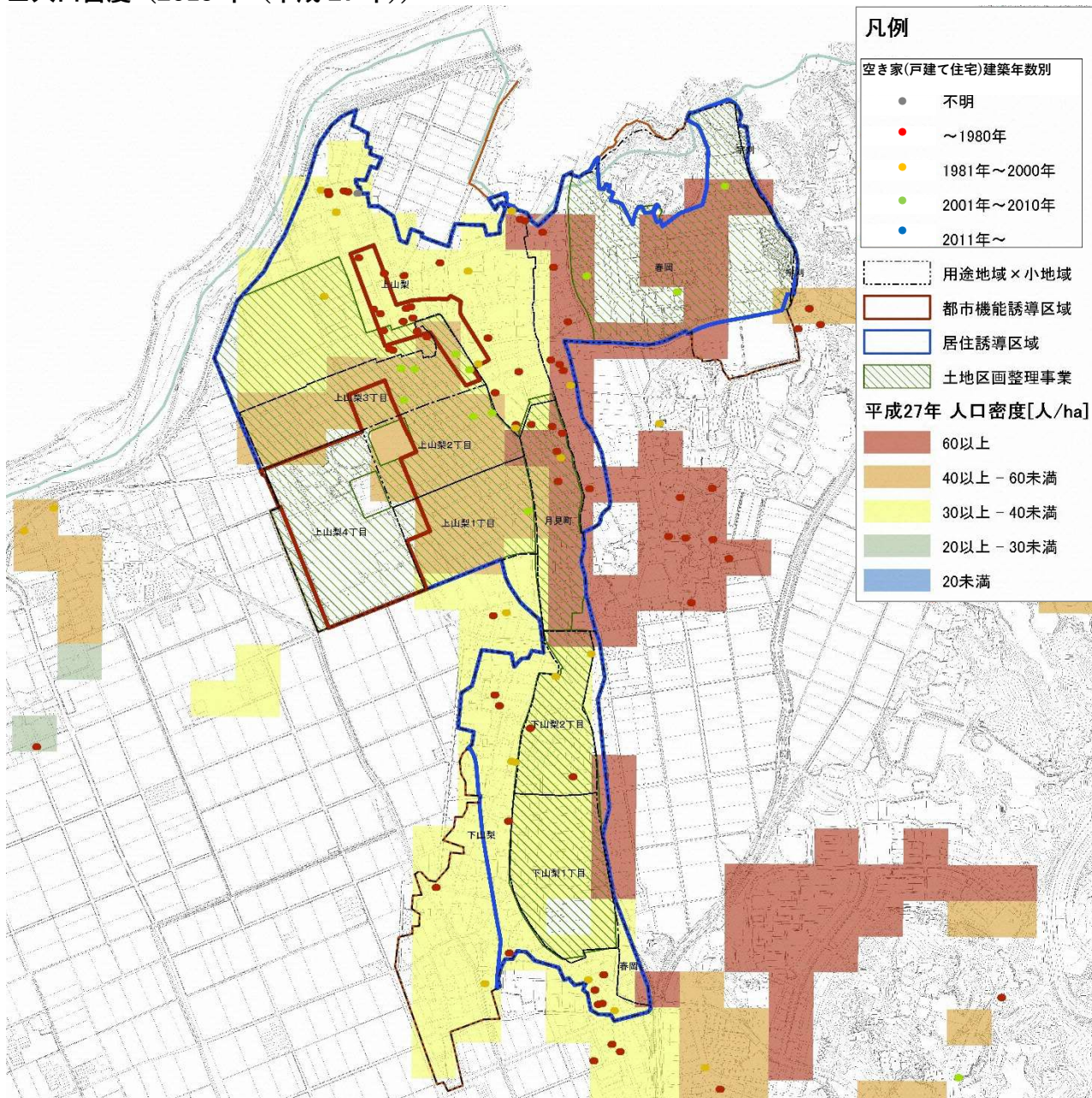
3. 上山梨地区周辺

3-1. 人口、人口密度、空き家について

近年、上山梨地区において土地区画整理事業が完了もしくは実施しており、年少人口の割合が高く（17.3%）、比較的若い世帯が居住しています。土地区画整理地内では、概ね人口密度は維持しているものの、このまま定住が促進されれば高齢化が進むことが想定されています。

区画整理区域外では、1980年以前の空き家が点在しています。

■人口密度（2015年（平成27年））



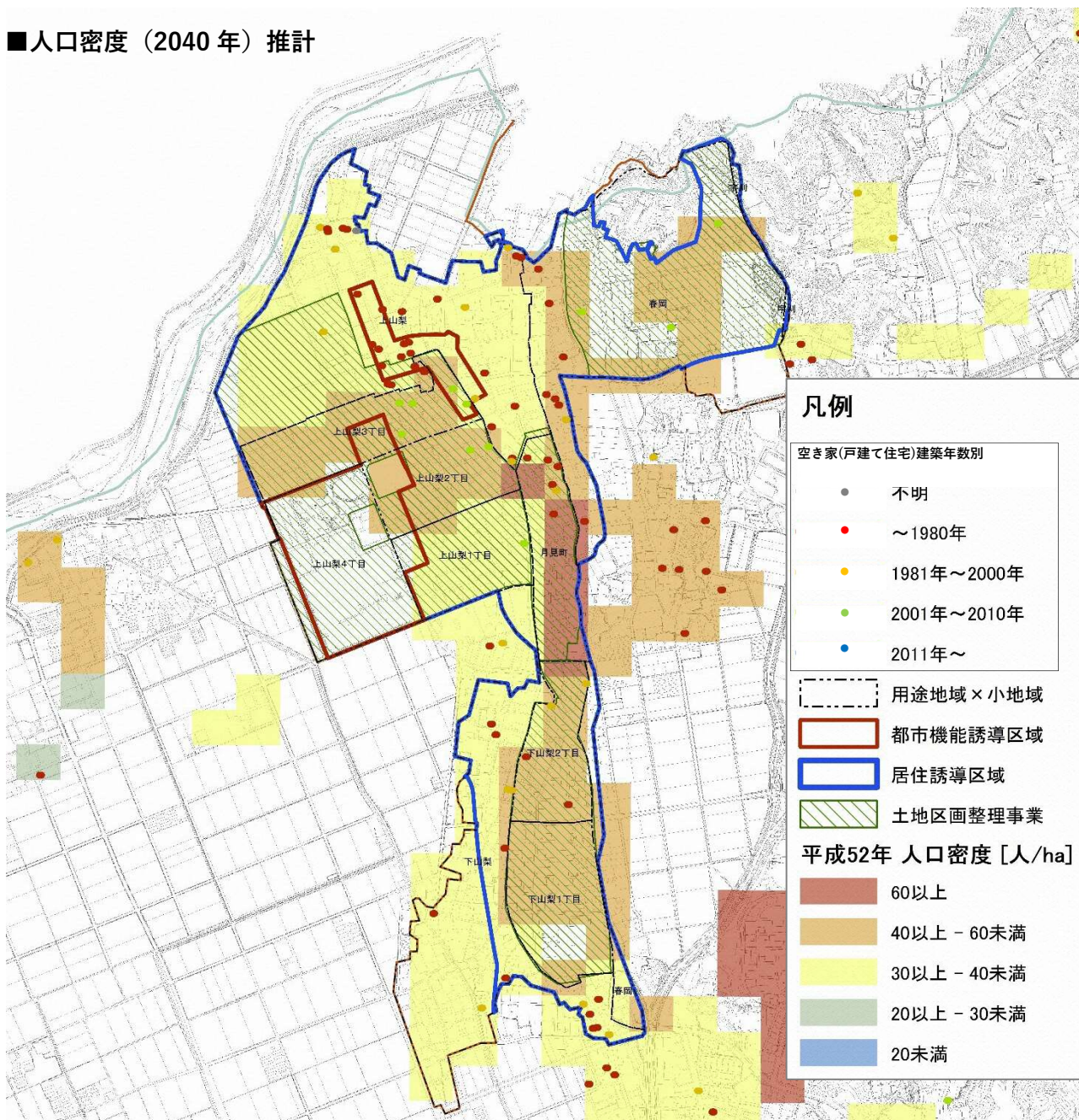
※人口密度の算出方法については、P5（下段）に記載していますので参考としてください。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

■各地域の人口推計



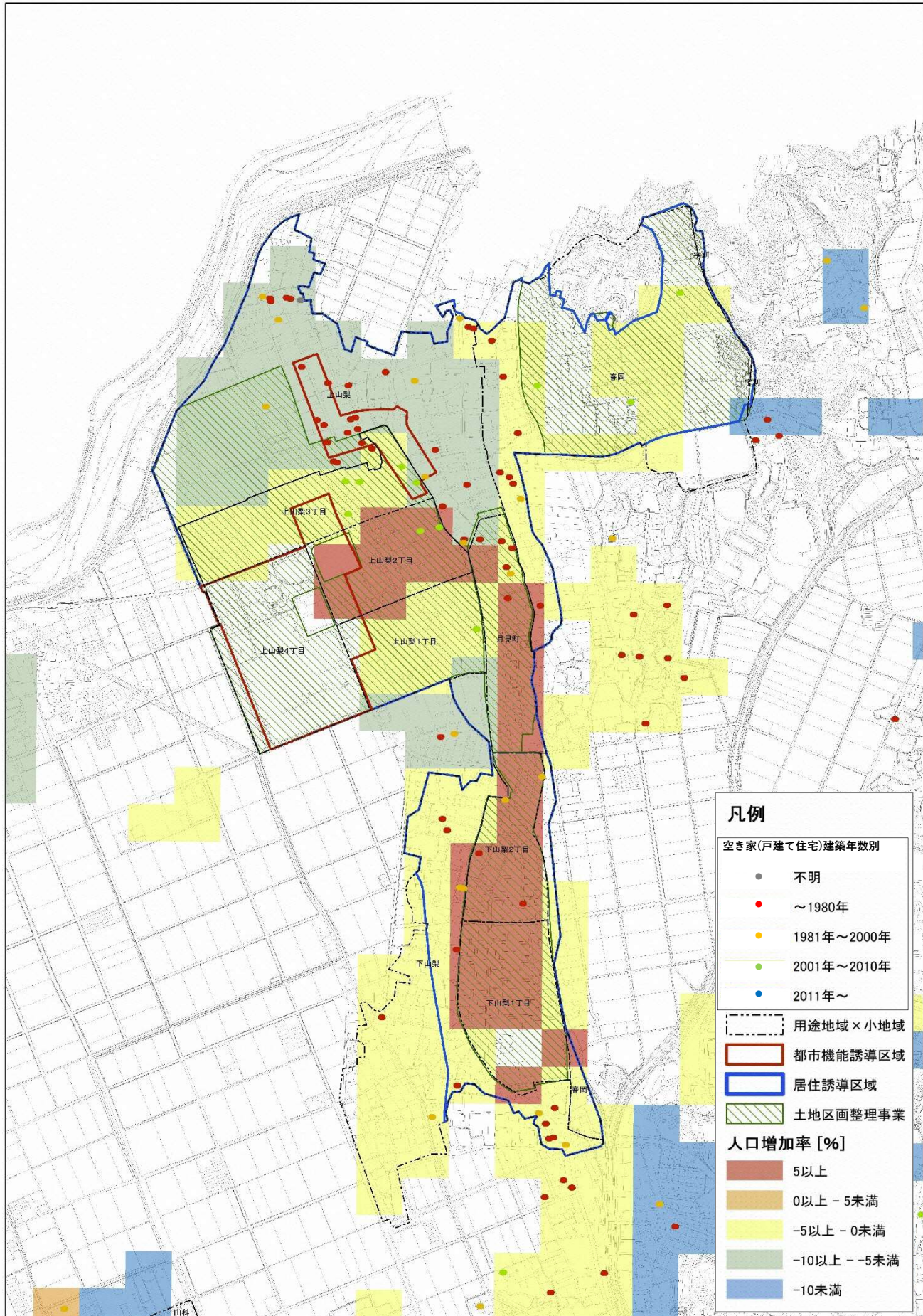
■人口密度 (2040年) 推計



※人口密度の算出方法については、P5 (下段) を参照してください。

※空き家のプロットについては、2015年度(平成27年度)に実施した空き家分布調査に基づき作成したもので、2040年の状況を推定したものではありません。今後の空き家の動向については、P11(下段)を参照してください。

■人口密度増加率（2015年（平成27年）→2040年）



※人口密度増加率の算出方法は、 $(2040年人口密度 - 2015年人口密度) \div 2015年人口密度 \times 100$ となります。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

用途地域内		人口密度	2015年（平成27年）	34.9（人/ha）
面積	156.8（ha）		2040年	34.7（人/ha）

用途地域内の年齢別人口（人）			増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	5,475	5,440	-35	-0.64%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	950	722	-228	-23.96%	17.3%	13.3%	-4.1%
生産年齢人口(15～64歳)	3,335	3,100	-235	-7.06%	60.9%	57.0%	-3.9%
老年人口(65歳以上)	1,191	1,618	427	35.87%	21.7%	29.7%	8.0%
幼児人口(0～5歳)	317	239	-78	-24.61%	5.8%	4.4%	-1.4%
小中学人口(6～14歳)	633	483	-150	-23.63%	11.6%	8.9%	-2.7%
若年女性人口(20～39歳)	676	616	-60	-8.93%	12.3%	11.3%	-1.0%

土地区画整理地内 ※組合、市施行のみ		人口密度	2015年（平成27年）	36.7（人/ha）
面積	90.7（ha）		2040年	37.4（人/ha）

区画整理地内の年齢別人口（人）			増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	3,332	3,391	59	1.79%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	634	459	-175	-27.64%	19.0%	13.5%	-5.5%
生産年齢人口(15～64歳)	2,037	1,960	-77	-3.80%	61.2%	57.8%	-3.4%
老年人口(65歳以上)	660	971	311	47.20%	19.8%	28.6%	8.8%
幼児人口(0～5歳)	205	154	-51	-25.08%	6.2%	4.5%	-1.6%
小中学人口(6～14歳)	429	305	-124	-28.87%	12.9%	9.0%	-3.9%
若年女性人口(20～39歳)	414	406	-8	-1.89%	12.4%	12.0%	-0.4%

居住誘導区域内		人口密度	2015年（平成27年）	37.0（人/ha）
面積	135.38（ha）		2040年	36.9（人/ha）

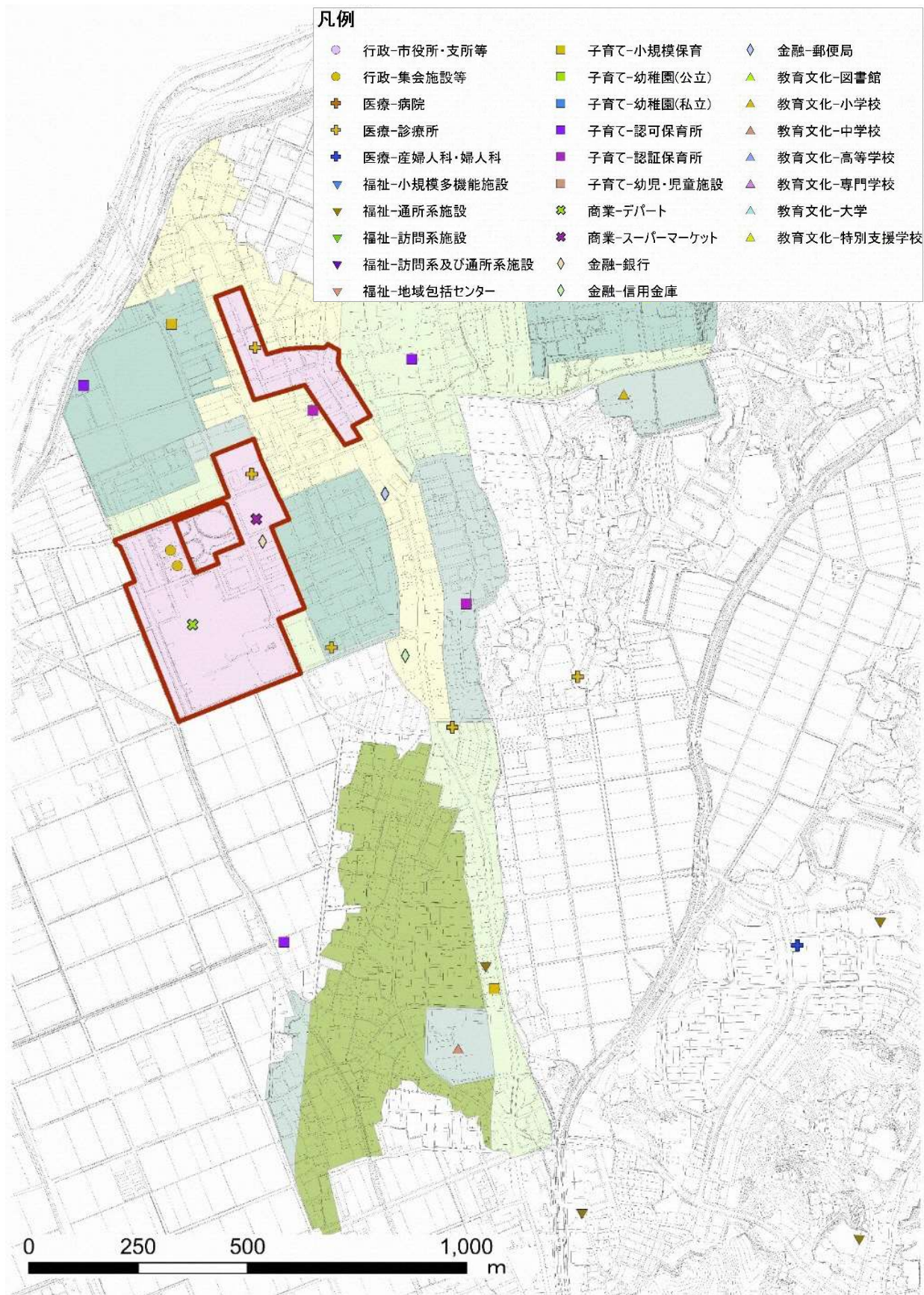
居住誘導区域内の年齢別人口（人）			増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	5,015	4,997	-18	-0.36%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	882	667	-215	-24.35%	17.6%	13.3%	-4.2%
生産年齢人口(15～64歳)	3,049	2,849	-199	-6.54%	60.8%	57.0%	-3.8%
老年人口(65歳以上)	1,085	1,480	395	36.43%	21.6%	29.6%	8.0%
幼児人口(0～5歳)	288	221	-67	-23.20%	5.7%	4.4%	-1.3%
小中学人口(6～14歳)	594	446	-148	-24.91%	11.8%	8.9%	-2.9%
若年女性人口(20～39歳)	614	572	-42	-6.83%	12.2%	11.4%	-0.8%

	空き家数							
	建築年数					管理状況		
	～1980年	1981年～2000年	2001年～2010年	2011年～	不明	倒壊の危険がある空き家	管理不良な空き家	管理良好な空き家
用途地域	48	16	11	0	1	4	11	61
区画整理地	12	4	11	0	0	1	3	23
居住誘導区域	47	15	11	0	1	4	11	59

3-2. 都市機能の立地状況について

地域拠点（上山梨地区周辺）の都市機能誘導区域では、様々な都市機能が立地しており、土地
区画整理事業を契機に大規模商業施設、月見の里学遊館等の都市機能が整備されています。

■上山梨周辺の都市機能の立地状況

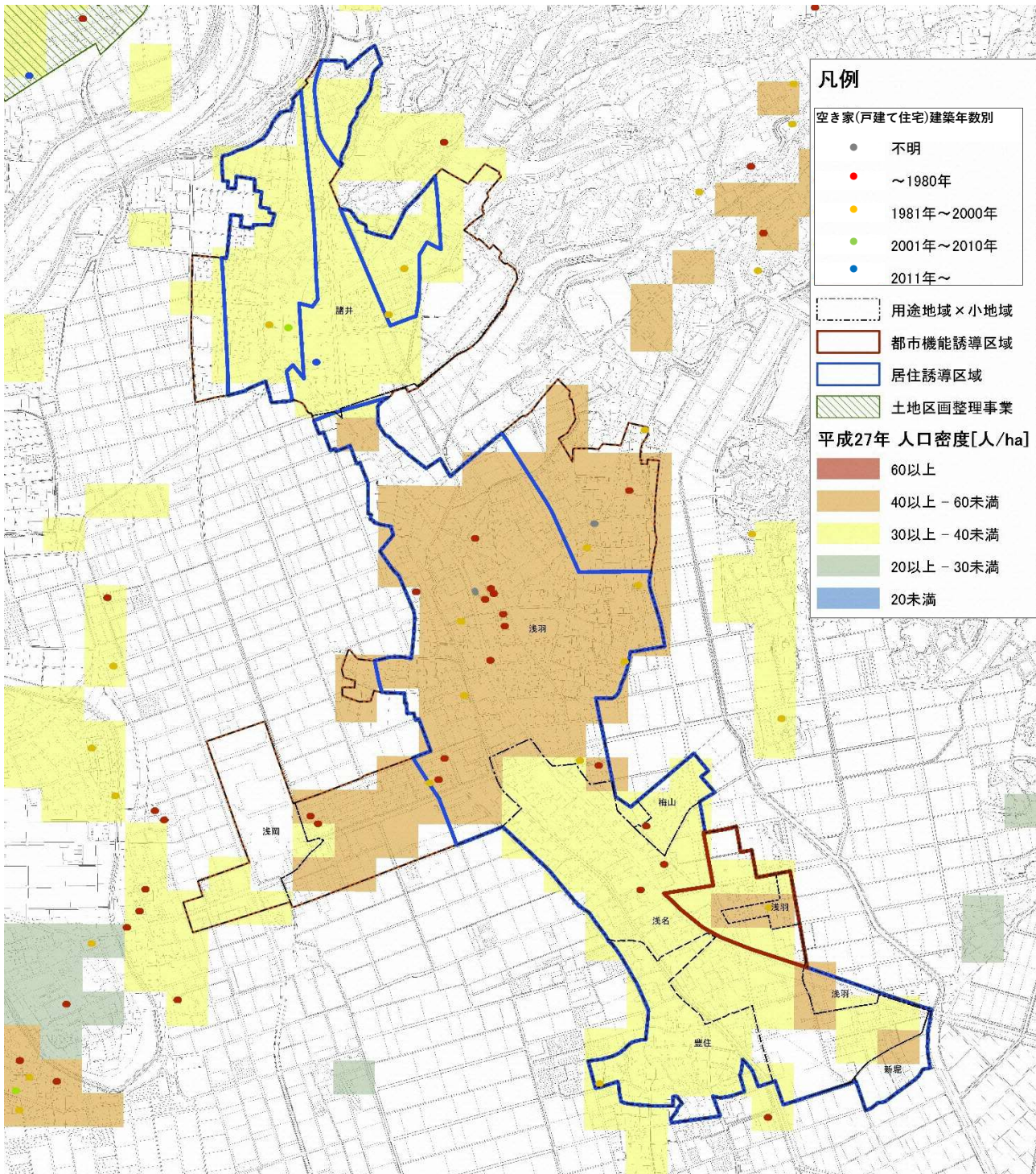


4. 浅羽支所周辺

4-1. 人口、人口密度、空き家について

浅羽支所周辺は、2040年の老年人口割合（32.6%）が高く、将来的に高齢化の進行が予想されています。空き家の分布は見られていますが、JR袋井駅周辺や上山梨地区周辺に比べて少ない状況です。

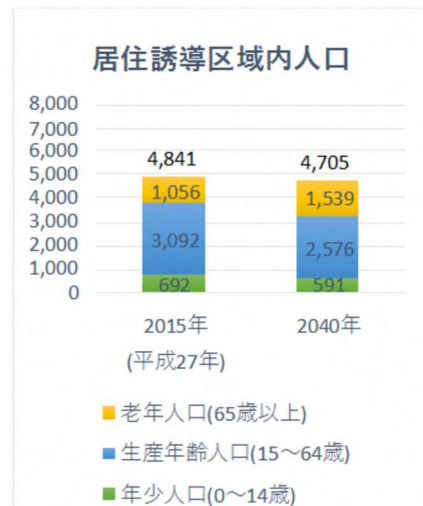
■人口密度（2015年（平成27年））



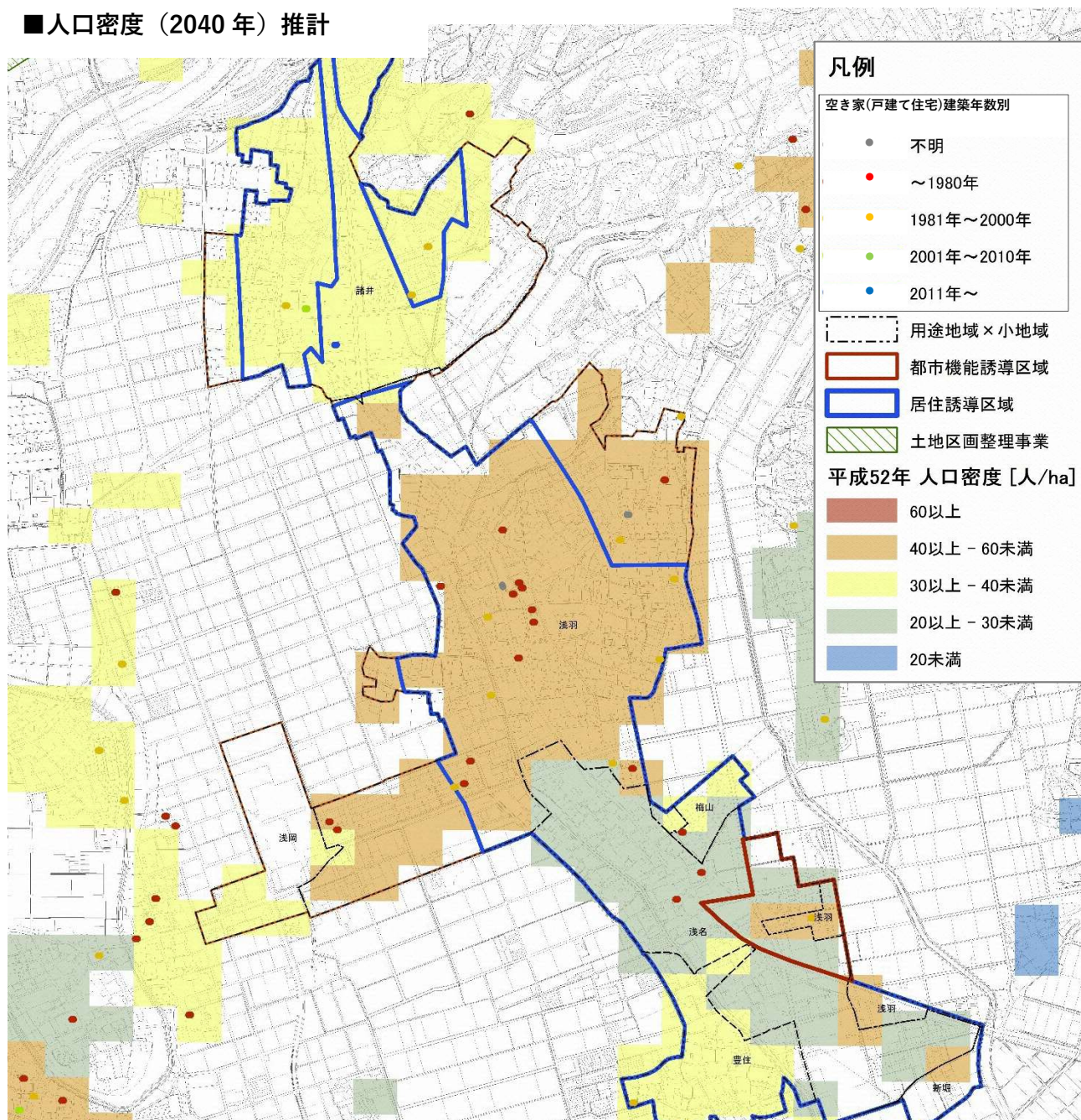
※人口密度の算出方法については、P5（下段）に記載していますので参考としてください。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

■各地域の人口推計



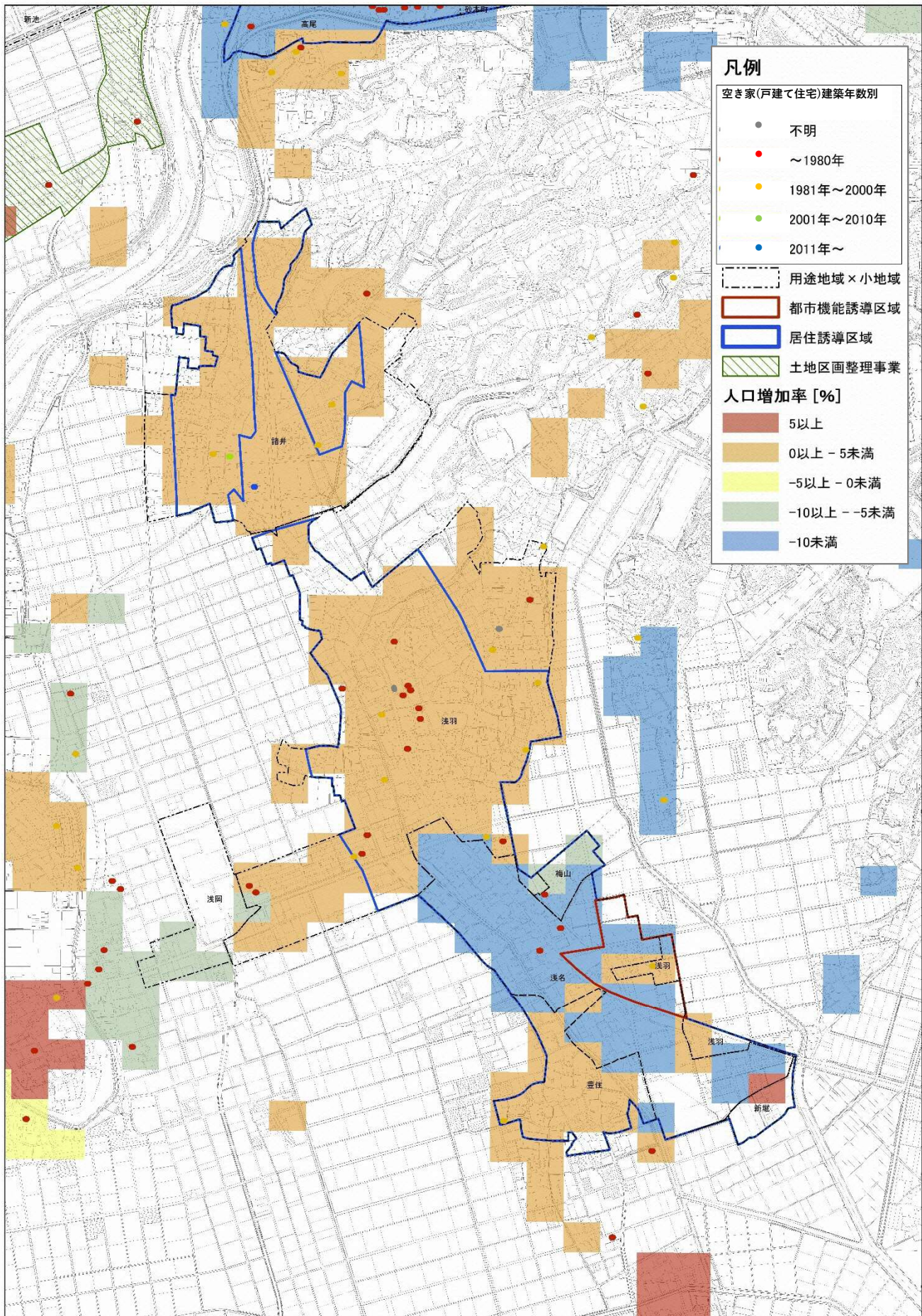
■人口密度（2040年）推計



※人口密度の算出方法については、P5（下段）を参照してください。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したもので、2040年の状況を推定したものではありません。今後の空き家の動向については、P11（下段）を参照してください。

■人口密度増加率（2015年（平成27年）→2040年）



※人口密度増加率の算出方法は、(2040年人口密度 - 2015年人口密度) ÷ 2015年人口密度 × 100 となります。

※空き家のプロットについては、2015年度（平成27年度）に実施した空き家分布調査に基づき作成したものです。

用途地域内		人口密度	2015年（平成27年）	35.1（人/ha）
面積	193.7（ha）		2040年	34.6（人/ha）

用途地域内の年齢別人口（人）	2015年（平成27年）		増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	6,806	6,700	-106	-1.56%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	976	843	-133	-13.63%	14.3%	12.6%	-1.8%
生産年齢人口(15～64歳)	4,363	3,670	-694	-15.89%	64.1%	54.8%	-9.3%
老年人口(65歳以上)	1,466	2,187	721	49.16%	21.5%	32.6%	11.1%
幼児人口(0～5歳)	309	276	-34	-10.94%	4.5%	4.1%	-0.4%
小中学人口(6～14歳)	667	568	-99	-14.87%	9.8%	8.5%	-1.3%
若年女性人口(20～39歳)	750	648	-102	-13.62%	11.0%	9.7%	-1.4%

居住誘導区域内		人口密度	2015年（平成27年）	36.4（人/ha）
面積	133.16（ha）		2040年	35.3（人/ha）

居住誘導区域内の年齢別人口（人）	2015年（平成27年）		増減数（人）	増加率（%）	人口割合（%）		増減数（人）
	2015年（平成27年）	2040年			2015年（平成27年）	2040年	
人口	4,841	4,705	-135	-2.80%	-	-	-
年少人口(0～14歳)	692	591	-102	-14.70%	14.3%	12.6%	-1.8%
生産年齢人口(15～64歳)	3,092	2,576	-516	-16.69%	63.9%	54.7%	-9.1%
老年人口(65歳以上)	1,056	1,539	483	45.71%	21.8%	32.7%	10.9%
幼児人口(0～5歳)	219	193	-26	-11.68%	4.5%	4.1%	-0.4%
小中学人口(6～14歳)	474	397	-76	-16.10%	9.8%	8.4%	-1.3%
若年女性人口(20～39歳)	526	453	-73	-13.88%	10.9%	9.6%	-1.2%

	空き家数							
	建築年数					管理状況		
	～1980年	1981年～2000年	2001年～2010年	2011年～	不明	倒壊の危険がある空き家	管理不良な空き家	管理良好な空き家
用途地域	17	13	1	1	2	1	11	22
区画整理地	-	-	-	-	-	-	-	-
居住誘導区域	14	10	1	0	1	1	10	15

4-2. 都市機能の立地状況について

地域拠点（浅羽支所周辺）の都市機能誘導区域では、袋井市役所浅羽支所や浅羽図書館が立地しています。

■浅羽支所周辺の都市機能の立地状況

